

# 令和7年度 フリースクール等の 利用者を支援します

## 利用料助成金

# 月額最大2万円

東京都では、不登校の小・中学生が、フリースクール等に通う場合の利用料助成を行っています。

助成金の受給には、**交付申請**と**利用状況報告**が必要です。

ホームページで要件等をご確認の上、手続きをお願いします。

※審査の結果、受給できない場合があります。

### 令和6年度からの主な変更点

- ✓ 交付申請の受付を昨年度よりも1か月程度早め、5月28日から開始します。これに伴い、第1四半期分の支給も最短で1か月程度早い9月下旬に可能となります。
- ✓ 令和6年度にオンライン申請し、交付決定を受けた方は、登録情報(住所・氏名等)が引継がれるため、簡易に申請することが可能です。

### 主な助成要件等

#### 助成対象者

都内在住の不登校の小・中学生の保護者

・このほか、要件の詳細はホームページでご確認ください。

助成対象となる  
フリースクール等

不登校支援を主たる目的としている通所型施設

- ・このほか、東京都が定める要件を満たしている必要があります。
- ・**フリースクール等に作成していただく書類**があります。

#### 助成金額

フリースクール等の利用料に対して月額2万円(上限)を助成

- ・入会金、施設維持費、教材費などは対象外です。
- ・3か月ごとに、**利用状況報告**を東京都に提出した後に、助成金が支給されます。

#### 交付申請受付期間

令和7年5月28日～令和8年2月13日

- ・この期間内であれば、令和7年4月分の利用料まで遡って申請できます。
- ・助成金の支給時期は、申請をした時期によって異なります。

#### ホームページのご案内

必要書類などの詳細は、  
こちらからご確認ください。

**オンライン申請**が  
可能です！



<https://tokyo-fs-support.metro.tokyo.lg.jp>

#### 【お問合せ】

東京都フリースクール等利用料助成金事務局  
(受託者:アデコ株式会社)

【受付時間:9時～18時(日曜日・祝日除く)】

電話

03-6800-8763

# 申請～受給の流れ

(オンライン申請の場合)

助成金の受給には**交付申請**と3か月ごとの**利用状況報告**が必要です。

## 交付申請

- ✓ 利用者登録
  - ・ メールアドレスのみで即時登録完了
- ✓ 申請書類を準備する
  - ・ 利用中(予定)のフリースクール等に確認書を記入してもらう
  - ・ 申請者で必要書類を用意する(例:住民票など)
- ✓ オンラインで申請手続き実施

## 審査・ 交付決定

- 東京都による審査
- 交付決定者には、通知書を通知

## 3か月ごとに 利用状況 報告

- ✓ 利用状況報告書類を準備する
  1. 利用状況実績報告書
  2. 通所状況等報告書  
フリースクール等に作成してもらい、在籍校に必要事項を記入してもらう必要があります。
  3. 口座振替依頼書(都様式)
  4. 利用料の支払いがわかる書類
- ✓ オンラインで報告手続き実施

## 3か月ごとに 助成金 受給

- 東京都による審査、助成金の額確定
- 助成金額確定通知書を通知
- 登録口座へ入金

## フリースクール等を利用している 保護者の皆様へ

### Q. サポートプランって何ですか？

A. 「東京都フリースクール等支援事業」の支援を受けるフリースクール等が、通所するお子様一人ひとりに寄り添った支援が提供できるよう作成するものです。

具体的には、保護者の皆様や在籍校と連携しながら、お子様一人ひとりの状況を把握し、必要な支援の方向性などを記載したサポートプランを作成します。

<「東京都フリースクール等支援事業」とは>

学校生活になじめない子供に対し、子供目線に立った取組を行うフリースクール等を支援する事業です。

日々の子供の支援がより充実したものとなるよう、サポートプランを作成するための人件費や、安全体制向上のための経費等の補助のほか、

フリースクール等への専門家の派遣、スタッフの資質向上研修等の支援を実施しています。



## Q. サポートプランはどうやって作られますか？

A. フリースクール等が、保護者やお子様から状況や意見などを聞き取り、日々の支援をより充実させるための手立てを検討しながら作成します。

東京都フリースクール等支援事業		サポートプラン【A表】		要領第2号様式	
<small>※本プランは「東京都フリースクール等支援事業実施要綱」で定められている「サポートプラン」であり、本プランの様式は、「東京都フリースクール等支援事業サポートプラン作成等要領」に定められているものです。</small>					
記入者	対象児童生徒番号				
	在籍校名				
	学年				
	フリースクール等施設名称				
	記入者氏名				
	電話番号				
	メールアドレス				
1 子供の状況について（保護者）					
現在の状況	これまでの状況				
	社会性・情緒面				
	（得意なこと/好きなこと）				
	（苦手なこと/嫌いなこと）				
	学業面				
	（得意な科目・分野/ 好きな科目・分野）				
	（苦手な科目・分野/ 嫌いな科目・分野）				
	社会資源・民間施設等の 利用状況				
健康面に関する注意事項					
その他事項					

### 【A表】

これまでの状況や現在のお子様の様子などを、保護者の方に伺いながら作成します。  
保護者から見たご家庭でのお子様の様子や、フリースクール等に知っておいてほしいことなどをフリースクール等にお伝えください。

東京都フリースクール等支援事業		サポートプラン【B表】		要領第2号様式	
<small>※本プランは「東京都フリースクール等支援事業実施要綱」で定められている「サポートプラン」であり、本プランの様式は、「東京都フリースクール等支援事業サポートプラン作成等要領」に定められているものです。</small>					
対象児童生徒番号					
2 子供の状況について（本人）					
今の気持ち					
今困っていること					
好きなこと・ 楽しいこと					
苦手なこと・ 嫌いなこと （したくないこと）					
3 適所に出た後の今後の希望等					
本人					
保護者					
4 将来の進路についての希望					
本人					
保護者					

### 【B表】

お子様本人に、今の気持ちや、好きなこと、困っていること、進路の希望などを伺いながら作成します。  
上手に言葉にできなくても、その状況も含め、今後の支援の方向性の参考にします。

東京都フリースクール等支援事業		サポートプラン【C表】		要領第2号様式	
<small>※本プランは「東京都フリースクール等支援事業実施要綱」で定めている「サポートプラン」であり、本プランの様式は、「東京都フリースクール等支援事業サポートプラン作成等要綱」に定めているものです。</small>					
対象児童生徒番号					
	在籍校名				
学年					
記入者	フリースクール等施設名称				
	記入者氏名				
	電話番号				
	メールアドレス				
フリースクール等におけるサポートの手立て					
サポートの方向性					
サポートの手立て	こころ				
	人とのつながり				
	学び				
所感 (サポート上の工夫や気づいた点等)					
<small>&lt;保護者確認欄&gt; ※年度末までの継続的な通所を強制するものではありません。</small>					
<small>本サポートプランの内容を確認し、フリースクール等が提供するサポートの手立てについて同意します。</small>					
確認日		確認方法			
		保護者氏名			

## 【C表】

A表、B表の内容をもとに、フリースクール等がお子様への支援の手立てを検討し、作成します。

作成後、フリースクール等から保護者の方に内容を見ていただきます。

お子様の状況にあった支援の手立てになっているかどうかをご確認ください。

## 【ご協力のお願ひ】

- サポートプラン作成に際し、フリースクール等との面談やヒアリング、サポートプランの内容確認にご協力お願いします。
- 東京都フリースクール等支援事業では、サポートプランの作成がフリースクール等への補助要件であると同時に、フリースクール等が作成するサポートプランの質をさらに向上し、お子様へより良い支援を行うため、専門人材による作成支援や相談を受け付けています。個人のお名前を伏せた状態での、サポートプランの東京都への提供にご協力お願いします。

## Q. サポートプランはどう活用されますか？

A\_1. 日々の支援の充実を図りつつ、定期的に内容を見直し、  
お子様の成長に合わせた支援の手立てに更新します。

フリースクール等は、作成したサポートプランをもとに支援を行います。  
また、お子様の成長や、進級・進学等による変化をとらえ、  
定期的にサポートプランの内容を見直します。

見直しの際は、フリースクール等との意見交換に  
ご協力をお願いします。

【事務局のフォローアップ】  
フリースクール等がサポート  
プランの作成や支援に悩んだ  
ときは、事務局の専門人材が  
随時ご相談を受け付けます！

A\_2. 在籍校と連携し、フリースクール等での活動の様子や、  
支援内容を共有することができます。

作成されたサポートプランは、フリースクール等と保護者の間だけでなく、在籍校へ  
共有することができます。

A、B、C表のそれぞれについて、お子様とも相談して、在籍校へ提供するかどうかを  
ご判断ください。

東京都フリースクール等支援事業

HP:<https://shien-fs-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/>

〇お問い合わせ先

東京都フリースクール等支援事業事務局(受託:株式会社パソナ)

メールアドレス:[shien-fs-tokyo@pasona.co.jp](mailto:shien-fs-tokyo@pasona.co.jp)

電話番号:03-6633-3648

受付時間:12時~18時(日・祝日・年末年始を除く)



令和7年3月時点

## 東京都フリースクール等利用者支援事業(助成金)における手続きの流れ

## 助成金請求手続き(四半期ごとに年度で4回程度)

【通知文】3依頼事項(1)関連

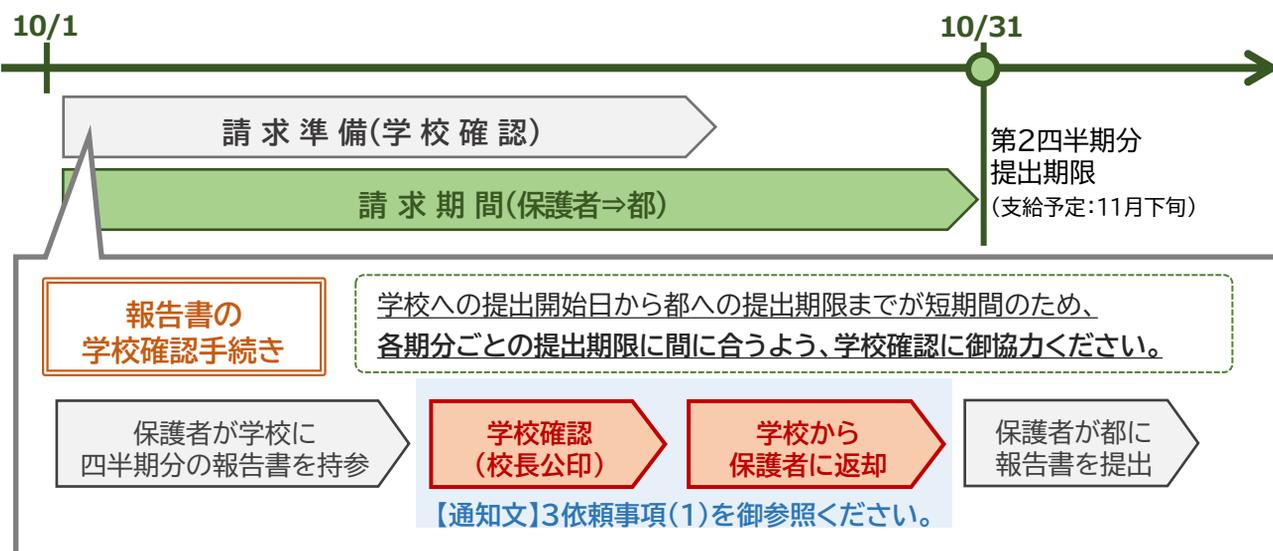
保護者は、下記の報告書学校確認スケジュールに沿って、四半期分の「フリースクール等への通所状況等報告書」(第11号様式)を学校に持参

⇒ 四半期ごとの提出期限に間に合うよう、

**報告書の学校確認手続き**

にかかる事務処理をお願いします。

## 請求手続きの流れ(例:第2四半期(7月~9月)分)



## &lt;報告書学校確認スケジュール(令和7年度)&gt;

対象利用料	学校への提出開始日	都への提出期限	支給予定
第1四半期(4~6月)分	8月初旬	8/31まで	9月下旬
第2四半期(7~9月)分	10月初旬	10/31まで	11月下旬
第3四半期(10~12月)分	1月初旬	1/31まで	2月下旬
第4四半期(1~3月)分	3月中旬	4/15まで	5月下旬

※ 上記提出期限を過ぎた場合でも、令和8年4月15日までに都に提出されたものについては、支給手続きが行われます。そのため、第1四半期から第3四半期分については都への提出期限後も、保護者が報告書を持参する場合がございます。この場合においても、学校確認手続きの御対応をお願いします。

# 記入例

(第11-1号様式)

東京都フリースクール等利用者支援事業助成金  
フリースクール等への通所状況等報告書  
(国立学校・区市町村立学校・都立学校用)  
(第 1 四半期分)

東京都知事 殿

4～6月分：第1 7～9月分：第2  
10～12月分：第3 1～3月分：第4

東京都が実施する「東京都フリースクール等利用者支援事業」におけるフリースクール等利用料助成金の交付に当たり、下記のとおり、申請児童生徒が在籍する学校に確認しました。

保護者の方が「1 申請者記入欄」を記載してから、学校に「2 学校確認欄」の記載を依頼してください。

記

## 1 申請者記入欄 (申請者である保護者の方が記入してください)

(1) 在籍校名	新宿区 立 ○○○小学校
(2) 学年	第 3 学年
(3) 申請児童生徒氏名	東京 次郎
(4) 利用施設名 (フリースクール等)	とうきょうフリースクール (連絡先) 03-5321-XXXX
(5) 保護者 (交付決定者) 氏名	東京 太郎
(6) 保護者連絡先 (電話番号)	090-XXXX-XXXX

## 2 学校確認欄 (申請児童生徒が在籍する学校が記入してください。)

上記期間における申請児童生徒のフリースクール等への通所状況等について、別紙により確認しました。

はんこが押されているか、必ず確認してください。

学 校 名 新宿区立○○○小学校

校 長 名 ○○ ○○

(令和○年○月○日確認)

学校連絡先 03-XXXX-XXXX

日付が記載されているか必ずご確認ください。

校長  
校長公印  
公印

# 記入例

(第11号様式の別紙(参考様式))

月ごとに作成してください。

## 東京都フリースクール等利用者支援事業助成金 フリースクール等への通所状況等報告書(令和7年6月分)

(提出者)

施設  
運営者

所在地  
名称及び  
代表者氏名

東京都新宿区西新宿〇-〇-〇  
NPO法人フリースクールとうきょう  
代表理事 新宿 花子

事務局から連絡する場合がありますので、必ず  
記載してください。

連絡先

担当者名: 多摩 電話番号: 03-XXXX-XXXX  
電子メール: [aaabbbccc@aabbcc.jp](mailto:aaabbbccc@aabbcc.jp)

児童生徒氏名	東京 次郎	保護者 (交付決定者) 氏名	東京 太郎
学年	第 3 学年		

日付	曜日	通所	活動時間	主な活動内容
1日	(日)		~	
2日	(月)		~	
3日	(火)	○	10:00 ~ 15:00	教科学習
4日	(水)		~	
5日	(木)	○	13:00 ~ 17:00	体験活動※1
6日	(金)		~	
7日	(土)		~	
8日	(日)		~	
9日	(月)		~	
10日	(火)		~	
11日	(水)		~	
12日	(木)	○	10:00 ~ 15:00	教科学習
13日	(金)		~	
14日	(土)		~	
15日	(日)	○	10:00 ~ 15:00	教科学習

日付	曜日	通所	活動時間	主な活動内容
16日	(月)		~	
17日	(火)		~	
18日	(水)	○	10:00 ~ 15:00	教科学習
19日	(木)		~	
20日	(金)		~	
21日	(土)	○	10:00 ~ 15:00	教科学習
22日	(日)		~	
23日	(月)		~	
24日	(火)		~	
25日	(水)	○	10:00 ~ 15:00	教科学習
26日	(木)		~	
27日	(金)		~	
28日	(土)		~	
29日	(日)		~	
30日	(月)	○	10:00 ~ 15:00	教科学習
			~	

※「通所」欄は通所の場合は「○」を記載し、やむを得ずオンライン通所となった場合は「オ」と記載してください。

### 自由記入欄

必要に応じて具体的に記入してください。

- ・※1の体験活動では、近所の防災館で大地震の体験や避難の方法について学びました。
- ・先月より通所回数も増え、スクール内で新しく友達ができたようです。
- ・勉強面では算数に興味を持ち始め、割り算と掛け算の勉強を意欲的に行っています。

※ 本様式に記載の事項が全て含まれる場合は、独自様式を用いることが可能である。